

第7回高知県社会教育委員会

日時：令和3年2月18日（木）9:00～11:30

場所：心の教育センター研修室

高知市大原町120-1

次 第

- 1 開会
高知県社会教育副委員長 挨拶

- 2 内容
高知県社会教育委員会提言において、事業化した取組についての報告

【報告者】
 - 眞鍋大輔氏（NPO法人GIFT事務局長）
 - 吉富慎作委員（NPO法人土佐山アカデミー事務局長）
 - 森岡千晴委員（高知県青年団協議会会長）

- 3 令和3年度生涯学習課予算について

- 4 閉会
高知県教育委員会事務局生涯学習課長挨拶

第7回高知県社会教育委員会 委員名簿

| 区分 | 氏名 | 現職名等 | 出欠 |
|-------|-------|------------------------------------|-------------|
| 学校教育 | 岡西 博文 | 香南市教育支援センター「森田村塾」 塾長 | 出 |
| | 時久 恵子 | 香美市教育長 | 出 |
| 社会教育 | 竹中 利文 | 高知県小中学校PTA連合会 前会長 | 出 |
| | 森岡 千晴 | 高知県青年団協議会 会長 | 出 |
| | 川田 朋子 | 南国市立稲生ふれあい館 運営審議会委員 | 欠 |
| | 川田 米實 | 社会福祉法人ぷらうらんど 理事長 | 出 |
| | 徳弘 朋子 | 高知県民生委員児童委員協議会連合会 副会長 | 欠 |
| | 吉富 慎作 | NPO法人土佐山アカデミー 事務局長 | 出 (Zoom) |
| 家庭教育 | 廣末 ゆか | 中芸広域連合地域包括支援センター センター長 | 出 |
| 学識経験者 | 内田 純一 | 高知大学地域協働学部 教授 | 欠 |
| | 清國 祐二 | 独立行政法人教職員支援機構 つくば中央研修センター センター長 | 出 (Zoom) |

知の循環型社会を目指した生涯学習・社会教育の推進

(R3取組の全体像)

生涯学習課

背景

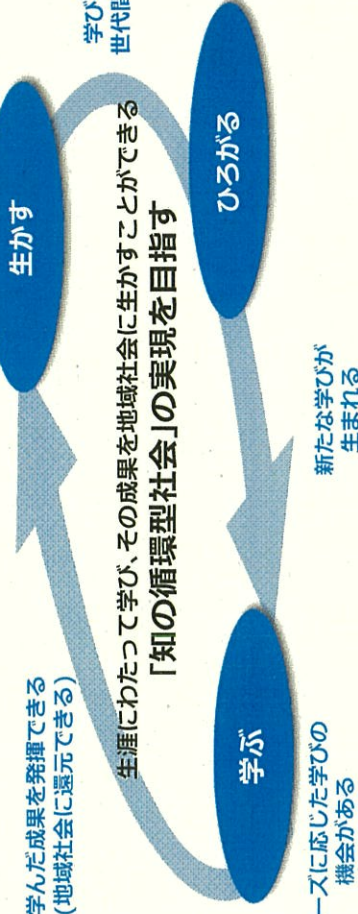
＜第3期高知県教育振興基本計画＞

社会・経済が急速に変化するとともに、個人の生き方も多様化している中で、県民一人一人が自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるようには、誰もが生涯にわたって学び続けられる環境を整備していくことが重要です。

また、個人の学びの成果がさまざまな場面で発揮されることで、地域や社会に好影響がもたらされます。

目指す姿

学んだ成果を発揮できる
(地域社会に還元できる)



新しい学びが生まれる

学びを地域社会や世代間で共有できる

実現に向けた取組

■ 多様な学びの機会の提供

【拡】若者の学びなおしと自立支援事業費

若者サポーステーションにおいて、中学校卒業時及び高校中退時の進路未定者並びに二ノートや引きこもり傾向にある若者、就職氷河期世代（昭和40年代）のうち、長期間無業であった方やひきこもり傾向にある方を支援

○ 読書ボランティア養成講座実施委託料

読み聞かせ等を行うボランティアの養成講座をNPO法人に委託して実施

■ 学びを地域に還元できる仕組みの充実

○ 地域学校協働活動推進事業

地域住民が学校の教育活動を支援する取組を組織的・継続的なものにする一方で、地域ぐるみで子どもの育ちを支援する地域学校協働本部の設置拡大と活動の充実

ひろがる

■ 学びを共有できる場の充実

○ 図書館管理運営費

オーテピア高知図書館が提供するサービス向上を図る

【新】市町村図書館等振興事業

高知県図書館振興計画に基づき、市町村図書館等の振興を図る

学ぶ

○ 「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」の活用

子育ての悩みを身近な話題から楽しく学ぶプログラム「修了者」「親プロファシリテーター」として登録し、要請に応じて地域に派遣

○ 家庭教育支援基盤形成事業費補助金

子育て講座など市町村が行う家庭教育支援の取組を支援

○ 【新】森林活用指導者育成事業

森林環境教育を推進することのできる人材育成研修を実施

■ 「学ぶ」「生かす」「情報提供・相談機能の強化

○ 生涯学習活性化推進事業費

県民の生涯学習ニーズに対応するため、相談や情報提供等を、県と官民協働で生涯学習の推進を担うNPO法人に委託して実施

○ 自然体験型学習事業（民間団体対象）

本県の森林等、豊かな自然環境を活かした体験活動を経験するための集団宿泊体験を実施する民間団体を支援

＜子どもたちを直接対象とした事業＞

■ 学校教育ではできない学び・体験の機会の提供

- ・地域学校協働活動推進事業費＜再掲＞
- ・新・放課後子ども総合プラン推進事業＜再掲＞
- ・自然体験型学習事業（学校対象）
- ・青少年教育施設における主催事業
- ・高知みらい科学館運営費
- ・ブックスタート応援事業
- ・ふるさと教育推進事業費補助金

○ 新・放課後子ども総合プラン推進事業

幅広い地域住民の参画により多様な体験・活動を行う子ども教室と、共働き世帯等の児童を対象とした児童クラブを一体的に推進

○ 学び場人材バンク設置委託料

地域の人材を発掘・登録し、子ども教室や児童クラブに派遣

○ 社会教育推進人材育成事業費

地域の学びを支える人材を育成
(社会教育主事養成、市町村社会教育担当者研修)

○ 社会教育振興事業費補助金

地域の社会教育の要である社会教育団体への助成

○ 社会教育団体への支援
県公民館連絡協議会、県社会教育委員連絡協議会など
社会教育団体の運営を側面支援

○ 社会教育実践交流会

様々な地域課題の解決や人と人との関係が密な地域づくりをめざし、社会教育関係者が一堂に会して実践事例に学ぶ

○ PTA活動振興事業

保幼小中高のPTA会員や関係者が一堂に集い、県内外の優れた実践事例に学ぶ(PTA研究大会)

○ 青少年教育施設管理運営費

青少年教育施設整備備費

青少年の健全な育成に向けて、多様な体験・宿泊を伴う研修、講習、野外活動などを行う施設(直営2・指定管理4)の管理運営及び整備

高知県社会教育委員会【地域全体で子どもたちの成長を支える社会教育のあり方について】提言事業化概要

先行実施

⇒ 令和元年度の中間報告を受けてすでに事業化しているもの

4つの推進方策の柱

「家庭教育支援」のサポート

具体的な
推進方策

【親子体験活動機会の拡充】

【民間団体と協働した活動の促進】

「多様な居場所づくり」のサポート

具体的な
推進方策

【県内青少年教育関係団体の活動支援強化】

【「子ども食堂」等、子どもの支援団体への
教育的支援】

【気軽に相談できるカフェなどの場づくりや
ネットワーク作りへの支援】

「生活・文化・自然体験の機会」のサポート

具体的な
推進方策

【社会教育関係団体等に対する活動支援】

【生活体験・自然体験型学習の充実と
人材の育成】

「地域づくり・つながりづくり」のサポート

具体的な
推進方策

【県や市町村の社会教育主事・社会教育士
の適正配置と体制強化】

【地域学校協働活動における
コーディネータの向上】

【市町村の社会教育委員の活動の
活性化とその支援】

【社会教育実践交流会の継続・発展】

子どもたちの成長を支える「知の循環型社会」の構築

【親子体験活動機会の拡充】

⇒ 幡多青少年の家における主催事業拡大(R1~)

「親子DEキャンプ」7月、10月

⇒ 青少年センターにおける主催事業拡大

「親子キャンプ」(親は子育てに関するワークショップ

【民間団体と協働した活動の促進】

⇒ 自然体験型学習事業

・民間団体への補助(R2:1,250千円)

1泊2日以上以上の宿泊体験を支援(参加人数に応じて運営費補助)

先行実施

拡

先行実施

先行実施

拡

【県内青少年教育関係団体の活動支援強化】

⇒ 自然体験型学習事業

【「子ども食堂」等、子どもの支援団体への教育的支援】

⇒ 団体等へ講師派遣(R1~)

高知家子ども居場所づくりネットワーク会議「子ども食堂スタッフ研修」(2回)、

「子ども居場所開設準備講座」(3回)へ講師を派遣(R1~)

【気軽に相談できるカフェなどの場づくりやネットワーク作りへの支援】

⇒ 「高知県社会教育実践交流会」等、ネットワークづくりの機会拡大

再掲

拡

先行実施

事業化に向け検討

【社会教育関係団体等に対する活動支援】

⇒ 自然体験型学習事業

【生活体験・自然体験型学習の充実と人材の育成】

⇒ 自然体験型学習を実施・運営できるスタッフの養成

再掲

拡

事業化に向け検討

【県や市町村の社会教育主事・社会教育士の適正配置と体制強化】

⇒ 令和3年度高知大学における社会教育主事講習への市町村からの派遣支援

【地域学校協働活動におけるコーディネータの向上】

⇒ 各地区コーディネータ研修の実施(R1~)

【市町村の社会教育委員の活動の活性化とその支援】

⇒ 市町村による「家庭教育支援基盤形成事業」活用促進

市町村、地区の交流促進(土佐市と安芸地区、土佐市と幡多地区の交流R1)

【実践交流会の継続・発展】

⇒ 社会教育関係団体からなる実行委員会による企画・運営

事業化に向け検討

先行実施

先行実施

先行実施

自然体験型学習事業（令和3年度案）

R3当初：4,896千円（入）4,896千円
 (R2：3,846千円（入）3,846千円)

生涯学習課

事業概要

森林率日本一を誇る本県が、森林等、豊かな自然環境を利用した体験を中心とした森林環境教育を推進することで、モデルとなる体験プログラムを構築する
 小中学校の児童生徒を対象とした森林環境保全学習や体験学習を含んだ宿泊体験活動に対して定額の補助を行う。

現状・課題

- ◆子ども達の自然体験活動や地域と関わる機会の減少 → 高知の豊かな森林をはじめとする自然や地域の魅力に触れたことのない児童・生徒の増加は郷土の魅力を実感せず成長してしまふ懸念。
- ◆集団活動の不足・小規模学校の増加 → 他者と協働することが苦手な児童・生徒が増える懸念。
- ◆厳しい環境に置かれている児童生徒の割合が25.5% → 家や学校を離れた自然に関わる体験をせずに大人になる懸念。

実施内容

- 大きな集団での活動が不足している子どもたち
- 過小規模校
小学校65校
(極小規模30校)
中学校3校
(極小規模2校)
実施：小学校6校
- 小規模校
小学122校
中学校64校
実施：小学校5校
中学校7校
- 適正規模校実施：
小学校1校

種小規模校：
 (小学校)2個学年を合わせて16人以下の複式学級で構成される2学級以下の学校
 (中学校)2個学年を合わせて8人以下の学級と他の学年を合わせて2学級以下の学校
 過小規模校：小学校1～5学級、中学校1～2学級
 小規模校：小学校6～11学級、中学校3～11学級

県内小学校139校、
 中学校68校(高知市除く)

事業目標

【自然体験型学習事業】
 R2目標実施校及び団体：25箇所(R元実施校：16校)
 参加児童生徒の「生きる力」に関する項目の数値→事前より事後の数値の増加した児童生徒の割合 100%(R元:89%)

自然体験型学習事業

《学校教育》15校

- ◆青少年教育施設や廃校を活用した2泊3日以上以上の宿泊体験を支援
- ◆森林環境保全、防災等、高知の豊かな森林をはじめとした自然環境を活用した多様なプログラムの実施 → 友だちとの協働による社会体験や、野外活動による自然体験、生活体験の増加

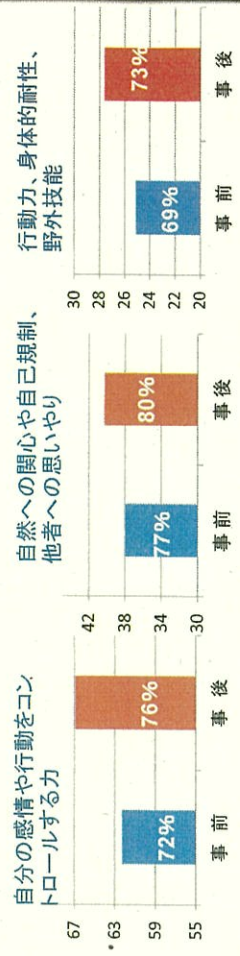
補助概要：定額補助
 ・合同実施校数
 ・参加児童生徒数
 数に応じて、定額金額を設定



- ◆間伐・枝打ち体験、森林と防災についての学習など、森林に関する活動をプログラムに取り入れることが補助条件
- ◆活動については、林業事務所・森林組合・森林管理局・農業高校・林業大学校等との連携・協力を仰ぐ

期待される効果

- ◆高知県の森林をはじめとする豊かな自然の魅力に気づくとともに、中山間地域の抱える課題に対して自発的に思考し行動できる児童・生徒が育成される。
- ◆集団で宿泊体験を行うことで、友だちとの協働の大切さに気づき、仲間とともに課題に取り組む児童・生徒が育成される。
- ◆特に厳しい環境に置かれている児童生徒にとっては、多様な自然体験活動や集団宿泊体験等を通じて、協働の大切さや成功体験を実感できる貴重な機会となり、自己肯定感や有用感の向上が期待できる。



R元 実施校のアンケート調査結果

《民間団体》10団体

- ◆青少年教育施設やキャンプ場等を活用した1泊2日以上での宿泊体験を支援
- ◆森林環境保全、防災等、高知の豊かな森林をはじめとした自然環境を活用した多様なプログラムの実施 → 学校・学年・地域を越えた参加者との協働による自然体験、生活体験の増加

学校教育以外で様々な自然体験活動を経験できる機会の増加が見込まれる。

